

日野第三小学校



「小学校の窓」

本校は今年、開校六十周年を迎えます。記念に、保護者や地域の方にお手伝いいただき、昨年六月、中庭にピオトープを作りました。一年たった今では、たくさん昆虫や鳥はもちろん野うさぎまでやってきて子ども達を驚かせています。自然を心地よいと感じる感性豊かな子を育てたいと思っています。

校長 京極 澄子



緑あふれる中庭ピオトープ

http://www.e-hino3.hino-ky.ed.jp/

日野第四小学校



「やっとできた水路」

校長室と校庭の間に水路が完成しました。そこで、末永く観察できる水辺の生態系空間(ピオトープ)として使ってもらいたいと考えました。ところが、ある時、中に入り、オタマジャクシをとったり、水草をかき回したり、周りの植栽を抜いた児童がいました。そこで、2年生の生活科の授業で学校は公園と同じ公共物で、みんなが末永く使う場所であるという授業を校長として行いました。ツバメが営巣し、カエルやヤモリの住む自然豊かな学校も、人が環境を整備していることをしっかりと教える必要があると思っています。

校長 太田 由紀夫



職員室前のピオトープ

http://www.e-hino4.hino-ky.ed.jp/

日野第五小学校



「輝け五小の子」

大きなゆりの木がやさしく見守る本校では、明るく素直な四百三名の五小の子供たちや通級学級の子供たちが、か(考える子)が(がんばる子)や(やさしい子)け(元気な子)を目標に、毎日勉強や運動を頑張っています。また、3つの函(挨拶・安全・後始末)も心がけています。春は遠足、夏休みには自主学習・プール、秋には運動会・展覧会・公園の清掃ボランティア活動、冬には子供文化祭りなどの楽しい行事もたくさんあります。

校長 竹山 弘志



大型テレビ活用の授業

http://www.e-hino5.hino-ky.ed.jp/

日野第八小学校



「魅力ある学校を創る」

本校の児童数は、現在八百九十九名です。施設等で整備が望まれますが、日々子供達は元気一杯に登校し、毎日を励んでおります。さて、「選択性」という意味では「魅力ある学校創り」が大切です。本校では、魅力ある教育活動として「八小なかよしパーティ」等に取り組んだり「外国語指導」や「異文化理解」を実施したりして「コミュニケーション能力」の育成に全ての学年が取り組み、楽しく、生きがいのある学校を目指しています。

校長 上條 茂



2年生の算数の授業風景

http://www.e-hino8.hino-ky.ed.jp/

滝合小学校



「校庭が芝生になります」

今年度は校庭の芝生化工事があります。九月には芝生開きを行い、使えるようになる予定です。この芝生化を契機に、学校の自然環境をもう一度見直し、再整備していきたいと考えています。本校は来年度に創立四十周年を迎えます。その節目にあたり、学校全体の教育活動や教育環境を見直していきます。古き良き伝統は残しつつ、英語活動はもちらんのこと、他校で成功している取組などもどんどん入れていきます。

校長 岡部 君夫



外国語活動の様子

http://www.e-takiai.hino-ky.ed.jp/

日野第七小学校



「本が大好き！読書活動の推進」

本校では子ども達の読書の推進に計画的に取り組んでいます。特に、全校で行う読書推進運動として二週間にわたる読書週間を年二回実施し、図書委員会を中心となつて、先生達のおすすめの本の紹介や、朝読書の実施などにより、「みんなで本を読もう！」というムードを盛り上げています。また、保護者や先生達による読み聞かせ活動も継続的に実施しており、子どもたちの本への興味を高めるのに大いに役立っています。七小ではこれからも読書好きの子ども達を育てていきます。

校長 中村 宏



児童集いでおすすめの本を紹介

http://www.e-hino7.hino-ky.ed.jp/

仲田小学校



「すすんで学ぶ子の育成に重点を置いています」

仲田小学校では、「すすんで学ぶ子」を学校の教育目標の一つに掲げています。今年度と来年度の二年間をかけて「進んで考えを伝え合う児童の育成」発言が豊かに広がる授業を目指して、「という校内研究テーマで、子供たちと関わっています。最近では多くの子供たちが授業中に自信を持って発言するようになってきました。これからは子供たちが持っている力を伸ばしていきけるように指導の工夫を行ってまいります。

校長 千代谷 和紀



発言することが楽しくなってきました

http://www.e-nakada.hino-ky.ed.jp/

夢が丘小学校



「本校の特色ある教育活動」

開校9年目の本校は、「人との関わりを大切にし、主体的に学ぶ子の育成」を研究主題にして生活・総合の授業研究を進めています。七生丘陵の豊かな自然と学区の多摩動物公園、郷土資料館、七生特別支援学校、明星大学等の恵まれた施設の協力を得て、体験学習や触れ合い交流は本校の特色ある教育活動の一つであり、子どもたちは生き生きと楽しく学習に取り組んでいます。また350名を48グループに分けた縦割り班活動は開校以来の伝統であり、異学年の交流を通して育まれた責任感や協力、やさしさは今年も上級生から下級生へと受け継がれています。

校長 阪田 幸子



学校園でのじゃがいもの収穫

http://www.e-yumegaoka.hino-ky.ed.jp/

七生緑小学校



「かかわりを大切にする学校」

学校創立3年目の今年、新しいものを創りだそうとする意欲にあふれ、ともに学び働く喜びを感じられる学校を目指しています。「みんなが」「みんなで」という意識で教職員、子どもたちが活動を進めています。高学年を中心に子どもたちが進んで計画を立て、全員が楽しめる児童集会やたわわり活動を充実させています。

校長 内田 清



全校一斉清掃

http://www.e-nanaomidori.hino-ky.ed.jp/